

公表： 令和6年2月28日

事業所名：edu.base上荒田

		チェック項目	はい	どちらでもない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか			○	机の配置	児童の年齢に合わせた活動内容に伴う個室の整備
	2	職員の配置数は適切であるか			○	他事業所からのフォロー等	他事業所からのフォロー依頼無しに行えるような人員の確保
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○			全床マット	マットの種類の変更
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○			毎日の清掃	・指定の時間にチャイムのなる時計の整備
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			時間を決め行っている	業務が重なるとPDCAサイクルが崩れることがあるので、日々必ずおこなわなくてはいけない業務を再度検討する
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			保護者向けのアンケートを実施	多くの意見を聞くことができたので、改善すべき点を1つずつクリアしていく
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			評価表の内容を定期的に公開	ホームページに定期的に公開
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	特になし	外部評価を行ってもらい、業務改善に繋げられるようにする。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			月1で行っている	・障害についての内容等専門性の高い研修を設ける
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○			アセスメント時期を明確にし、職員全体で意見交換を行っている	特になし
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			全事業所統一のアセスメントツールを使用	必要に応じて項目の追加を検討
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○			ガイドラインに則った支援計画の作成	ガイドラインの定期的な確認
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○			日々の振り返り	課題を話し合い、支援方法を適切なものにする
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			それぞれが立案したプログラムを月1でカンファレンスしている	支援員の専門性によって立案内容に偏りが出てくるため、安定した活動プログラムの提供
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			それぞれが立案したプログラムを月1でカンファレンスしている	支援員の専門性によって立案内容に偏りが出てくるため、安定した活動プログラムの提供
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせることで児童発達支援計画を作成しているか	○			状況に応じて対応	課題となる部分は、職員間で共有し支援計画に組み込んでいく
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			朝礼にて確認	日々の活動を記録し残していく
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか		○		早急に振り返りが必要なことに関しては行なっている	業務時間の都合上、当日の実施が難しい為翌日の朝礼にて実施中
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			個別の支援記録を開示	翌日の朝礼で話し合いを必ずおこなう
20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○			計画的におこなっている	保護者と対面で話すことで課題の達成具合や新たな課題について話しをする	